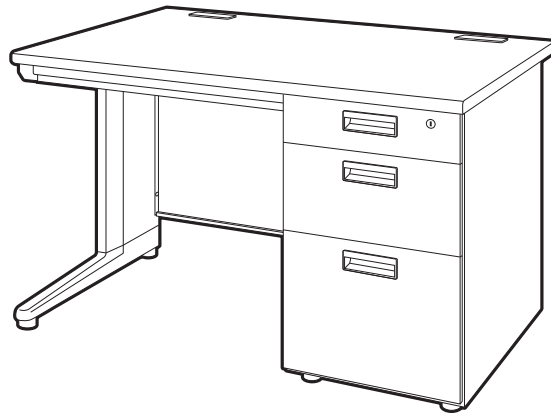


片袖机組立説明書

KTD-107S
KTD-127S

この度は弊社商品をお買い求めいただきありがとうございます。組立てる前にこの説明書を必ずお読みになり、組立てを行ってください。組立て後は組立説明書は大切に保管してください。

組立て完成図



組立用部品一覧

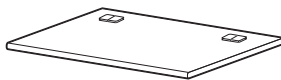
標準パーツ

- | | | |
|----------|----------------------|----------------|
| ①天板(×1) | ⑤センター引出し(×1) | ⑨仕切り板148mm(×1) |
| ②左脚(×1) | ⑥センター引出し固定用レール・左(×1) | ⑩仕切り板168mm(×1) |
| ③右袖箱(×1) | ⑦センター引出し固定用レール・右(×1) | ⑪首無しネジ(×11) |
| ④幕板(×1) | ⑧ペンケース(×1) | ⑫首ありネジ(×3) |

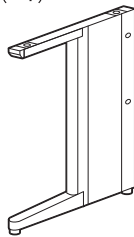
ご用意していただくもの

- ・手袋
- ・プラスドライバー

①天板(×1)



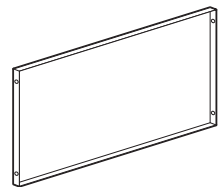
②左脚(×1)



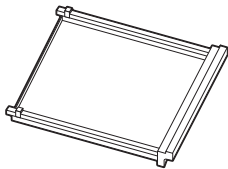
③右袖箱(×1)



④幕板(×1)



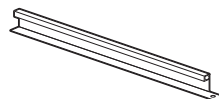
⑤センター引出し(×1)



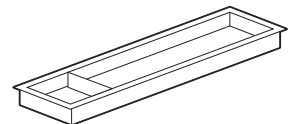
⑥センター引出し
固定用レール・左(×1)



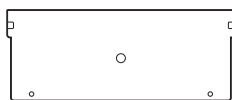
⑦センター引出し
固定用レール・右(×1)



⑧ペンケース(×1)

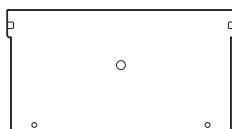


⑨仕切り板148mm(×1)



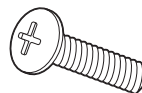
一番下の引出しの奥にバンドで
固定してあります

⑩仕切り板168mm(×1)

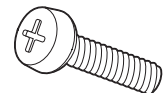


一番下の引出しの奥にバンドで
固定してあります

⑪首無しネジ(×11)



⑫首ありネジ(×3)



組立て

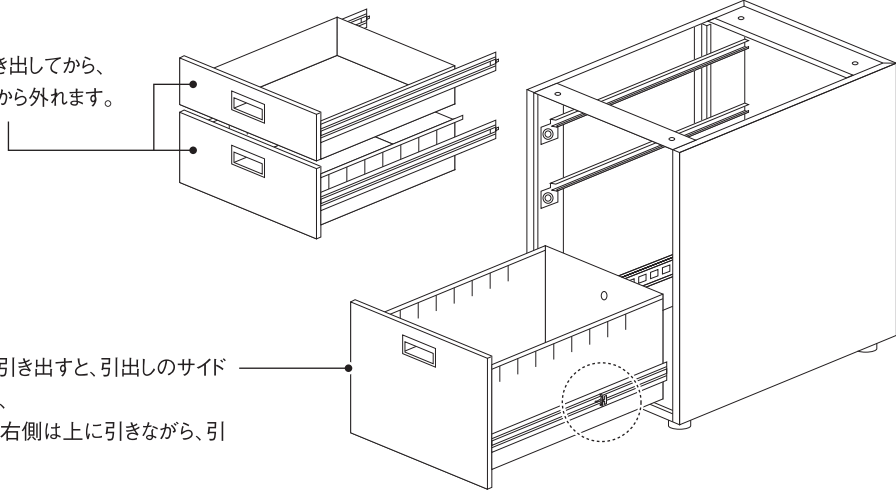
手順1

袖箱の引出しを取り外します。
※机に袖箱を取付ける際に、重みや引出しの可動でケガの恐れがあります。
必ず取り外してください。

※作業を行う前に手袋の着用してください。
引出しに手を挟んだり、レールで手を切る恐れがあります。

〈1段目／2段目〉

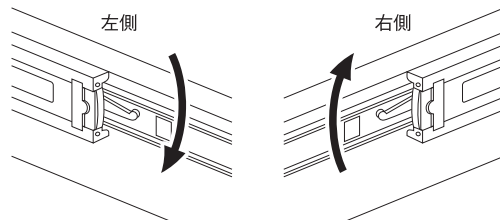
上2段の引出しは、いっぱい引き出してから、少し持ち上げて引き出すと、袖箱から外れます。



〈3段目〉

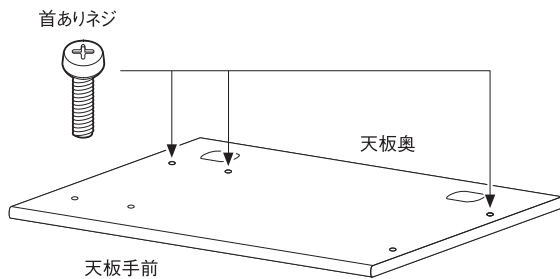
最下段の引出しは、いっぱいまで引き出すと、引出しのサイドのレールに黒いレバーがあるので、それを左図のように、左側は下に右側は上に引きながら、引出しを手前に引き出してください。

- レールで手を切る恐れがあります。注意して作業を行ってください。
- レールにグロスが塗布してあります。服を汚さないよう注意してください。



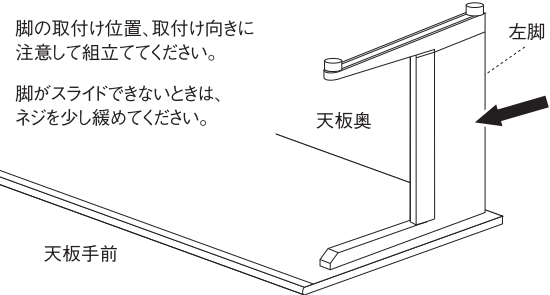
手順2

天板を裏返し、図の位置に、首ありネジ(3本)をしっかり取付けてください。ネジは首の分だけ、天板から出るように止まります。



手順3

左脚を取付けます。出っ張っているネジの頭に、左脚の取付け用の穴にネジをかぶせ、手前にスライドさせ、固定します。

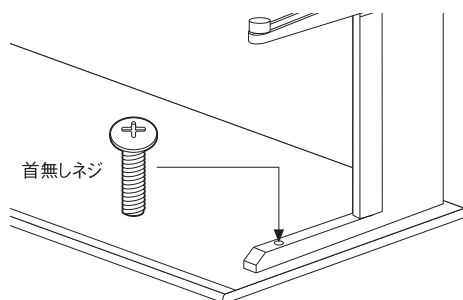


脚の取付け位置、取付け向きに注意して組立ててください。

脚がスライドできないときは、ネジを少し緩めてください。

手順4

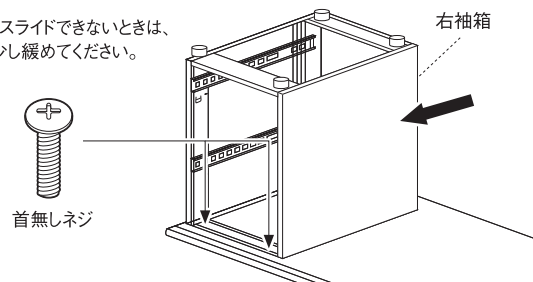
固定されているのを確認したら、左脚の手前側のネジ穴に、首無しネジ(1本)を取付けてください。



手順5

袖箱を取付けます。左脚の取付けと同じように、出っ張っているネジの頭に、袖箱の取付け用の穴にネジをかぶせ、手前にスライドさせて、固定します。袖箱の内側にあるネジ穴から、首無しネジ(2本)を取付けてください。

袖箱がスライドできないときは、ネジを少し緩めてください。

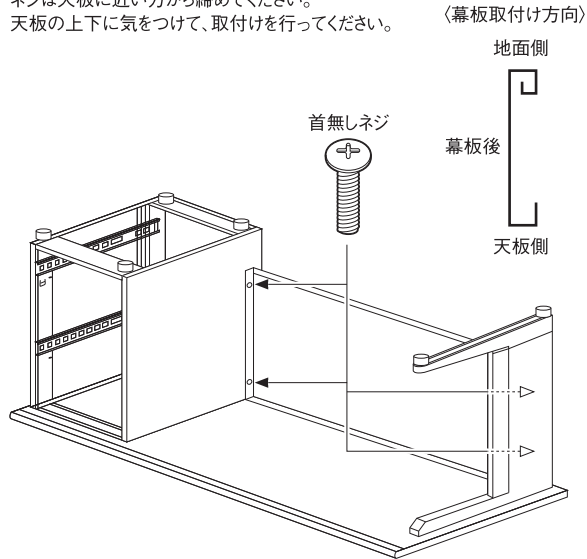


組立て

手順6

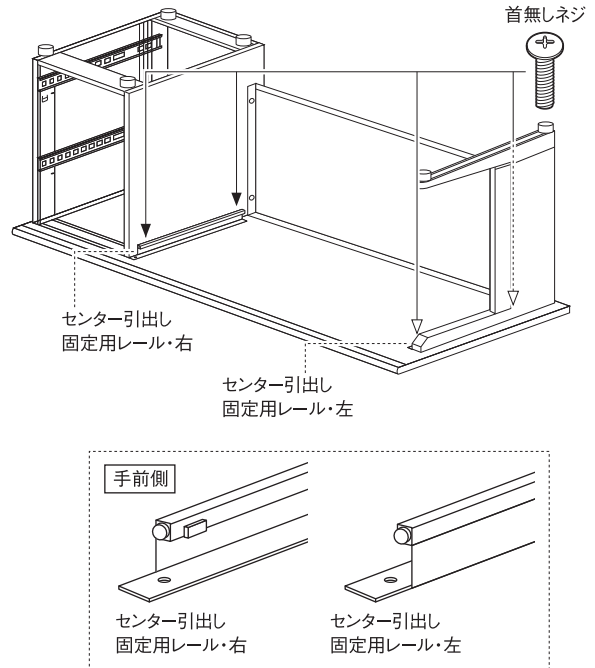
幕板を取付けます。左脚と袖箱の側面にある、2つのネジ穴に合わせて、首無しネジ(4本)で固定してください。

ネジは天板に近い方から締めてください。
天板の上下に気をつけて、取付けを行ってください。



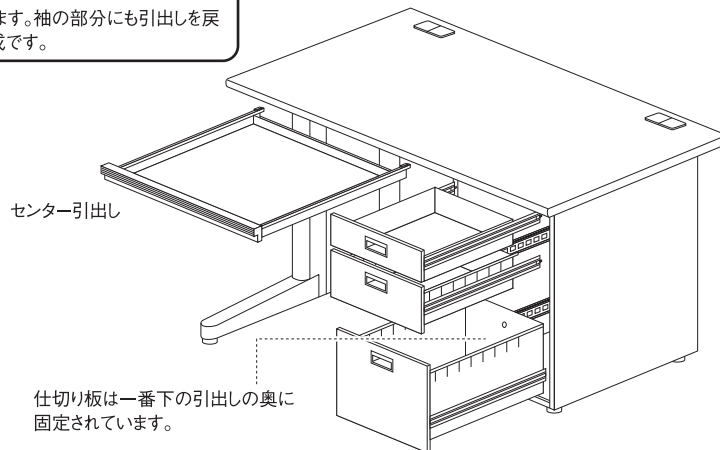
手順7

引出し固定レールを取付けます。首無しネジ(4本)で固定します。左右の位置に注意して、取付けを行ってください。



手順8

デスクをひっくり返し、センター引出しを取付けます。袖の部分にも引出しを戻し、ボルトの締め忘れが無いか確認したら、完成です。



注意事項

- ・必ず二人以上で組立て作業を行ってください。
- ・デスクに耐荷重以上物を載せないでください。
- ・デスクは床面の平らな場所に水平になるように置いてください。デスクの変形やゆがみの原因となることがあります。
- ・デスクの上に立ったり、乗ったり、腰掛けたり、踏み台代わりに使ったりしないでください。
- ・デスクの端に、偏った力を加えないでください。
- ・デスク以外の用途でのご使用はおやめください。
- ・デスクの上に灰皿や食器など、底のザラついた物を直接置いて引きずると、傷がつくことがありますので、ご注意ください。
- ・デスクを引きずらずて運ばないでください。デスクの破損や、床に傷がつく原因になります。
- ・半年に一度、ボルトが緩んでないか点検してください。ボルトが緩んだ状態でのご使用はおやめください。
- ・組立説明書にもとづいて、組立て・設置を行ってください。
- ・周りに何も無いことを確認してから、組立て作業を行ってください。
- ・指定された部品以外を使用しないでください。製品が破損したり、思わぬ事故の原因になります。